

公益社団法人 茨城県作業療法士会
令和5年度 第2回 常任理事会 議事録

令和5年9月13日19時00分、Web会議ツールZoomによるWeb会議において、理事名出席の下、常任理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、21時30分に散会した。

出席：(理事) 大場、小森、山倉、細田、寺門、荒井、浅野、後閑、片岡、田口功、柘植、松本、小山
13名

県学会実行委員長 野上

書記：松本

【I 審議事項】

1. 令和5年10月1日以降の「時給額」について 財務部 後閑部長 ⇒承認

<審議概要>

・最低賃金が953円になるため、①運営補助の時給をどうしていくか。②水野事務員の時給をどうしていくかについて審議いただきたい。

・運営補助は10月1日から1000円、水野事務員の時給は来年度から上げる良いのではないかと。

・来年度から水野事務員の給料は来年度1050円でよいのではないかと。

・水野事務員の駐車場代は本人と話し合った上で、県士会から直接管理会社に振り込むことになった。

<審議結果>

・運営補助は10月1日から1000円。

・水野事務員の時給は今回、据え置く。

・水野事務員の駐車場代は県士会からお支払するようにする。

2. 運営補助スタッフへの謝金について 地域貢献局 細田局長 ⇒継続審議

<審議概要>

・運営補助の謝金について各部局に確認したところ、全面的にお支払した場合、今年度の人件費の4倍になってしまう。そのため、運営費と会議費など分けながらどのような支払いが良いか審議いただきたい。

・4倍に増えるにあたり、振り込み作業なども増えるため財務の業務量も増えることになる。

・財務としては今年度、80万円の人件費を増加は可能。

・遊休財産を昨年度、正常化に持っていったため、今年度の予算計画より増えた場合、遊休財産が減ってしまい、来年度以降の事業運営が厳しくなる。

・会議の支払いに関してはどの程度の会議かによって調べるなどすると時間がかかるため、難しい。

・司法書士へ役員以外に固定した額を年間報酬として支払う事ができるか確認した所、他の法人では役員以外に年額で支給する事はなく、事業実施に際し旅費・日当での支払いをしている事が多い。

・役員以外に年額で報酬を支払う事は難しい。

・1回参加した場合はいくらで日当を決めるのが良いのではないかと。

・役員名簿を作り、数カ月まとめてお支払する形が良いのではないかと。

・現状、最低賃金をお支払するのは難しい。

・謝礼はクオカードなどでもよいのではないかと。

・会議はなしにして、当日に関してはクオカードでいいのではないかと。

・いろんなパターンがあるため、会議費はお支払するのは難しいのではないかと。

・事業本体の時間に合わせて支払うのが一般的ではないかと。

会議や準備にかかる時間に対しても時給が発生するのが望ましいが、講師が講演資料を作成・準備する時間は含まず、「講演時間」で報酬が発生するように、事業本体に対して支給するため、労働に対して不足感が出てしまうのは仕方ない。

・現金手渡し(クオカードも含む)の場合、受取証明書をもらう必要がある。

<審議結果>

・今年度の人件費はそのまますすめていく。

・運営補助の支払いについては来年度以降に向けて継続審議。

【Ⅱ 報告・連絡事項】

1. 県学会の進捗状況報告

柘植学会長

野上実行委員長

- ・基調講演は山本先生内諾していただき、教育講座を株式会社 Canvas の元廣惇先生に作業療法士が起業するためについてパネルディスカッションをしていただく。
- ・プログラムの内容は基調講演、一般演題、障害と自動車運転支援委員会、教育講座の順に進む予定。
- ・パネルディスカッションのパネリストは山本協会長、元廣先生、山倉局長、県内で起業している OT、養成校の先生と学生 OT で企業と卒後教育について話していただく予定。
- ・基調講演の座長を大場会長、教育講座の座長を柘植学会長が行う予定。
- ・時間がパネルディスカッションの時間が短いため、時間の調整が必要ではないか。
- ・エントリー数は今のところ伸び悩んでおり、エントリーを伸ばすとしても 10 月いっぱいまで柔軟にエントリーを伸ばす。
- ・それ以外にアールと県立医療大の学生から演題募集を依頼している。

2. 上半期事業報告について

各局長

事務局：小森局長

- ・公益インフォメーションの入力を完了している。
- ・財務は新しい会計社と協力しながら進めている。
- ・総務、庶務は変わりなく遂行している。
- ・下半期の課題について広告事業の収入、それ以外の収入について県に問い合わせている。
- ・日当について他県の状況を確認しながら司法書士と打ち合わせている。

地域貢献局：細田局長

- ・CD は対面での行事が増えてきており、地域貢献局内でも議論をしている最中のものもあるので随時、稟議書を確認しながら進めている。
- ・OT フェスタについて黄門まつりへの出店を行わず、今年度は祭り筑波への出店を行った。また、ロボットの打ち合わせを進めていく予定。
- ・イキイキ地域づくりは引継ぎも含めて進めている。
- ・市民公開講座は講師の選定を進めている。
- ・制度対策はトリプル改定の研修会の時期について年度内に研修を行うほうが良いか、それとも年度明け医療・福祉・介護に分けて実施したほうが良いか検討中。年度開けてみないとわからないこともあるため、協会と足並みをそろえて行う予定。
- ・こども・認知症・精神の委員会について粛々と進めている。

広報部：山倉局長

- ・宣伝部は HP・LINE の情報をタイムリーに発信している。HP のシンプル化を進める。
- ・広報編集部もメルマガは発信中。不定期メルマガを春・夏は発信、秋号も作成中で発信予定。
- ・啓発部は PT、OT、ST 士会でやっている高校生向けの普及啓発活動は例年見学と体験を行っていたが、参加者が多かったの見学会のみで対応した
- ・10 月 12 日オンラインの高校生への説明会依頼が 1 校申し込みあり。養成校ごとに出張講義があるため申し込みが少なくなっているのではないか。
- ・高校への説明会に関して養成校と協働で取り組めないか検討していく。
- ・協会、士会の説明と入会促進事業について養成校 2 校の教員から説明してもらっている。
- ・がん委員会は市民公開講座を準備しているが、地域貢献局の市民公開講座の大津理事に協力を依頼して進める。
- ・VR は委員会で話し合い、業者に依頼し、その返事をまっている。

教育学術は次回、報告していただく。

・令和5年11月5日（日）9：00～ 茨城県作業療法士会事務所またはZOOMにて開催予定

以上